



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.3

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)本牧元町有料老人ホーム	階数	地上4F
建設地	横浜市中区本牧元町301-1の一部	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	90人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年2月12日
敷地面積	1,166㎡	作成者	有限会社建築都市環境設計
建築面積	677㎡	確認日	2018年2月12日
延床面積	2,371㎡	確認者	有限会社建築都市環境設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%  
 ②建築物の取組み: 86%  
 ③上記+②以外の: 86%  
 ④上記+: 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 第一種住居地域に建つ有料老人ホームとして、建築物の環境品質を高めると同時に周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画した。	<b>その他</b> 特になし。	
<b>Q1 室内環境</b> ①TDL-52の乾式界壁工法を使用し、Dr-50を目標にしている。 ②住室の昼光率=1.25%以上。 ③庇とカーテンを組み合わせることでグレアを抑制している。	<b>Q2 サービス性能</b> ①標準的な個室面積=18.00㎡ ②床仕上げの選定など維持管理について標準以上の配慮をしている。 ③床: ビニル床材(20年)、壁: ビニルクロス(20年)、天井: ビニルクロス(30年) ④給水管: VLP(B)、給湯管: VPL(C)、排水管: VP(B)、Eは不使用。 ⑤建物全体及び住室の壁長さ比率=0.3以下	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ①外構緑化指数=61.59% ②建物の形態を周辺にバランスよく整え、植栽をして景観に配慮している。 ③空地率=41.94%、中高木・ビロティ等水平投影面積率=21.89% ④緑被率・水被率・中高木の水平投影面積率=33.65%
<b>LR1 エネルギー</b> ①BPIm=0.77 ②BEIm=0.83	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ①自動水栓のほか、節水型器具を使用している。 ②内壁や天井下地はLGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ①ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率=86% ②隣棟間隔指標Rw=0.79、地表面対策面積率=57.11% ③光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告照明は設置しない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



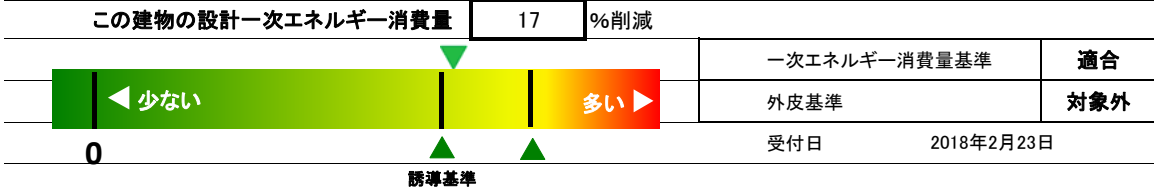
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)本牧元町有料老人ホーム

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI<sub>m</sub>=0.77

③BEI<sub>m</sub>=0.83

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

##### ■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩住室の昼光率=1.25%以上。庇とカーテンを組み合わせてグレアを抑制している。

⑪ほぼ全体的にF☆☆☆☆を使用している。居室面積の1/10以上の換気有効な開口面積を確保している。

##### ■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

⑫標準的な個室面積=18.00㎡。床仕上げの選定など維持管理について標準以上の配慮をしている。

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

⑭空地率=41.94%、中高木・ピロティ等水平投影面積率=21.89%

⑭緑被率・水被率・中高木の水平投影面積率=33.65%

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮床:ビニル床材(20年)、壁:ビニルクロス(20年)、天井:ビニルクロス(30年)

⑮床:給水管:VLP(B)、給湯管:VPL(C)、排水管:VP(B)、Eは不使用。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑱外構緑化指数=61.59%

⑲建物の形態を周辺にバランスよく整え、植栽をして景観に配慮している。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入